

BOSE[®]

| ① 設置ガイド



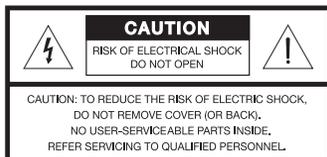
VideoWave[®] III
entertainment system

安全上の留意項目

このガイドは必ずお読みください。

設置ガイドの指示に注意し、慎重に従ってください。ご購入いただいたシステムを正しくセットアップして操作し、機能を十分に活用いただくために役立ちます。このガイドを含め、機器の操作と安全性に関する全ての説明文章を、必要な時に参照できるように保管してください。

ボーズ製品をご使用いただく際は、必ず地域と業界指導の安全基準に従ってください。



正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このオーナーズガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることをお客様に注意喚起するものです。



警告:

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしびきがかかるような場所でのこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。
- 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 子供がリモコンの電池に手を触れないようにしてください。取扱を誤ると、火災や火傷の原因となることがあります。電池を充電したり、分解したり、100°Cを超える熱を与えたり、焼却したりしないでください。使用済みの電池は速やかに処分してください。交換する場合は、正しい種類と型番の電池を使用してください。



廃電池請回収

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。



警告:

- のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。
- 機器を不安定な場所に置かないでください。機器が落下して、深刻なけがや死亡事故を引き起こす危険性があります。お子様の身に起こるものを含めた多くのけがは、簡単な予防措置で防ぐことができます。
 - 機器をしっかりと支えることができる設置台を使用してください。
 - 設置台からはみ出した状態で機器を置かないでください。
 - 機器を食器棚や本棚などの上に設置する際は、それらの家具と機器を適切な方法で壁に固定してください。
 - 機器の上に玩具などを置かないでください。
 - 機器を設置台の上に置く場合は、機器の下に布などを敷かないでください。
 - お子様に対し、機器をいじったり設置台の上に登ったりした場合の危険について、十分に説明してください。
- お子様モニターを押し下したり引いたり上に登ったりした場合、モニターの転倒により深刻なけがや死亡事故を引き起こす危険性があります。
 - 安全性および設置の安定性の向上のため、付属の転倒防止ストラップを取り付けることをおすすめします。
 - 転倒防止用ストラップは、10ページの手順に従って必ず2本とも取り付けてください。
- モニターを壁掛け設置する場合は、ブラケットメーカーの指示と以下の項目、および12ページに記載してあるガイドラインに従ってください。モニターの不安定な取り付けは、深刻なけがや物品の破損を招く恐れがあります。
 - 壁掛けブラケットは、機器の質量を十分支えることができる標準規格品をご使用ください。
 - 壁掛けブラケットを取り付ける際は、建築関連法規を遵守してください。
 - 壁掛け作業の安全性に不安がある場合は、専門の設置業者にご相談ください。
- 大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間に渡る本システムやヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。





注意:

- システムやアクセサリーを改造しないでください。許可なく製品を改造すると、システムの安全性と性能が損なわれるだけでなく、法令遵守の問題が生じ、製品保証が無効となる場合があります。
- 換気を保つため、モニターを壁のくぼみや締め切ったキャビネットなどの中に置かないでください。
- モニターのリアパネルにある換気孔は塞がないでください。この換気孔は機器の動作に必要な換気を確保するためのものであり、機器を安定して動作させ、過熱を防いでいます。
- モニターを熱源の近くや上部に置かないでください。

注記:

- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- この製品は、屋内専用機器です。屋外、RV車内、船上などで使用するようには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。
- 電源アダプターは、必ず製品に付属しているものをご使用ください。
- 製品のラベルは、コンソールの下、モニターの背面、およびリモコンのバッテリー装着部のふたの裏側にあります。

安全上重要な指示

- このガイドをよくお読みください。
- 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
- すべての警告に留意してください。
- すべての指示に従ってください。
- この製品を水の近くで使用しないでください。
- 清掃の際は乾いた布を使用してください。
- 通気孔は塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
- ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンブを含む)の近くには設置しないでください。
- 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
- 必ずメーカーにより指定された付属品、あるいはアクセサリーのみをご使用ください。
- 雷雨時や長期間使用しない場合は、製品の損傷を防ぐため、電源プラグを抜いてください。
- 修理が必要な際には、サービスセンターにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、例えば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

控えとして、製品のシリアル番号を下の欄にご記入ください。

コンソールのシリアル番号(本体底面に記載): _____

モニターのシリアル番号(コネクターカバーに記載): _____

購入日: _____

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをおすすめします。

安全上の留意項目

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than the one to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This Class B[*] digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

These devices comply with FCC and Industry Canada RF radiation exposure limits set forth for general population. They must not be co-located or be operating in conjunction with any other antennas or transmitters.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Remote control output power: 2.3 mW @ 2.4 GHz

Console output power: 1.5 mW @ 2.4 GHz

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

The temperature range of this product is 0° C to +55° C.

 This product conforms to all applicable EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at www.Bose.com/compliance.

Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements

Part Name	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated Diphenyl Ether (PBDE)
PCBs	X	0	0	0	0	0
Metal parts	X	0	0	0	0	0
Plastic parts	0	0	0	0	0	0
Speakers	X	0	0	0	0	0
Cables	X	0	0	0	0	0

0: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement in SJ/T 11353-2006.

X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement in SJ/T 11353-2006.

Apple, iPhone, iPod、およびMacはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。

HDMIおよびHDMIのロゴはHDMI Licensing, LLCの米国および他の国々における商標または登録商標です。

©2013 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

はじめに

お買い上げありがとうございます	6
製品の概要	6
付属品の確認	6

システムの設置と接続

モニターの設置と接続	7
モニターの設置場所について	7
スタンドを使用したモニターの設置	8
転倒防止用ストラップの取り付け	10
壁面へのモニターの設置	12
コンソールの設置と接続	14

システムの設定

システムの起動	16
セットアップ時のトラブル	19
お問い合わせ先	19

はじめに

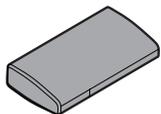
お買い上げありがとうございます

Bose® VideoWave® III entertainment systemをご購入いただき、ありがとうございます。このガイドでは、ご購入いただいたシステムをセットアップする方法について、順を追ってご説明いたします。システムのご購入時は、まずこちらの「①設置ガイド」を先にお読みください。

注意： 設置は専門業者にお任せいただくことをおすすめします。

製品の概要

VideoWave® III entertainment systemは、HDモニターと、スタンド、およびコンソール、リモコンから構成されます。



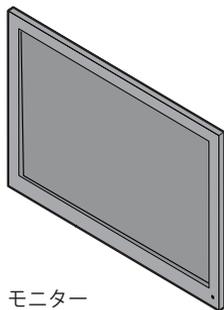
コンソール



Bose®クリックパッドリモコン



スタンド



モニター

付属品の確認

システムの付属品は2つの箱に分かれています。

1. 大きい方の箱にはモニターが収納されています。
2. 小さい方の箱には、コンソール、モニタースタンド、ネジ、および2つの箱が収納されています。

箱**1**には、システムを設置するときに使用するパーツが収納されています。

箱**2**には、システムの設定で使用するパーツが収納されています。

万一、開梱時に付属品の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、直ちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでの使用はおやめください。

箱や梱包材は、後日修理やメンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめします。

モニターを設置と接続

モニターは、同梱のスタンドを使用して家具の上に設置することも、壁に取り付けて使用することもできます。

警告: 46型モニターの質量は54 kgです。55型モニターの質量は61 kgです。けがを防ぐために、製品を持ち上げる際は2名で行ってください。

注意:

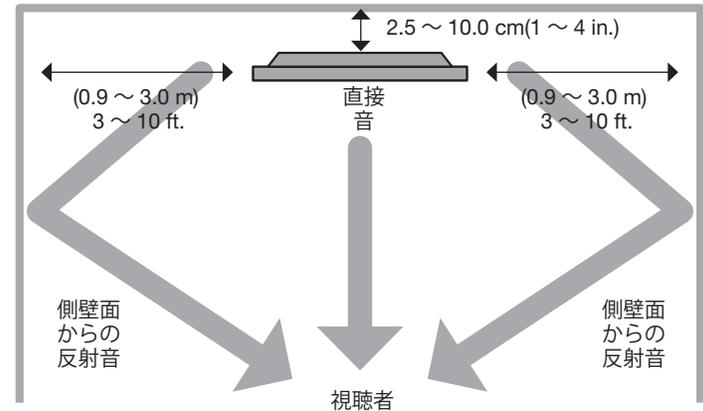
- モニターを壁のくぼみやキャビネットの中に設置しないでください。換気孔が塞がれるとともに、オーディオパフォーマンス低下の原因ともなります。
- VideoWaveシステムを暖炉の上に設置する場合は、熱の影響を受けないよう、暖炉の前面から15.3 cm以上奥まった位置に設置してください。

モニターの設置場所について

コンサートホールでのライブ演奏と同様の臨場感あふれる音場を、Bose® VideoWave® III entertainment systemのホームシアターでお楽しみいただくには、室内の反響面が重要です。本システムにはADAPTiQ®自動音場補正システムが搭載されており、室内におけるシステムの設置場所、およびお部屋の大きさ、形状、家具の配置状況などに基づいて、セットアップ中に音場を補正します。

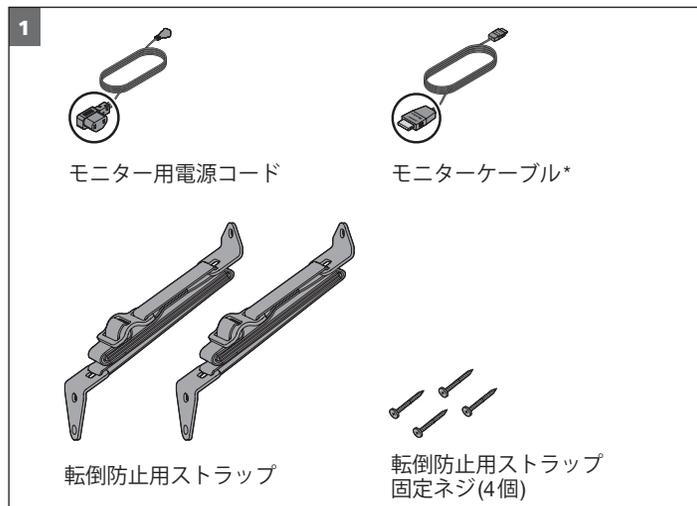
最適なパフォーマンスを得るため、モニターを設置する際は次の推奨ガイドラインをご参照ください。

- モニターの背面パネルと壁との距離は、2.5 ~ 10.0 cm程度にしてください。
- モニターと横の壁との距離は、できるだけ0.9 ~ 3.0 m程度にしてください。
- 換気孔が塞がれたり、オーディオパフォーマンス低下の原因とならないよう、モニターの上部と、その上にある天井面(あるいは棚など)との間を、少なくとも20 cm以上離してください。
- モニターと横の壁の間には、背の高い本棚やキャビネットなど、音をささげる障害物をできるだけ置かないようにしてください。
- 音声と映像のパフォーマンスを最良なものにするために、画面中央の水平線が座ったときの目の高さになるようにしてください。



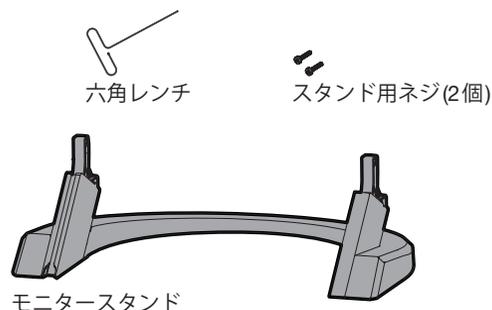
システムの設置と接続

箱1の中にある次の付属品を使用します。



*同梱のモニターケーブルは、壁内配線用途には対応していません。壁内配線用モニターケーブルにつきましては、ボーズ製品特約店にお問い合わせください。

その他に、モニタースタンド、ネジ、六角レンチを使用します。

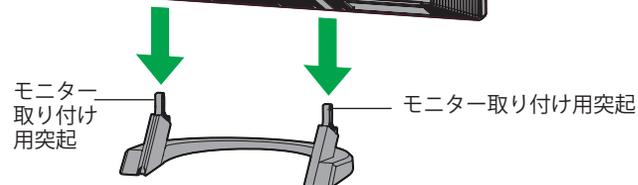
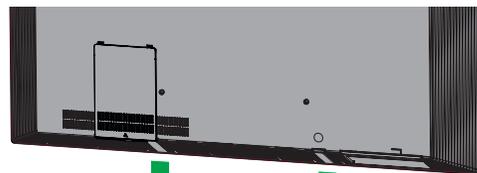


スタンドを使用したモニターの設定

モニターを設置する前に、モニターにスタンドを取り付けます。

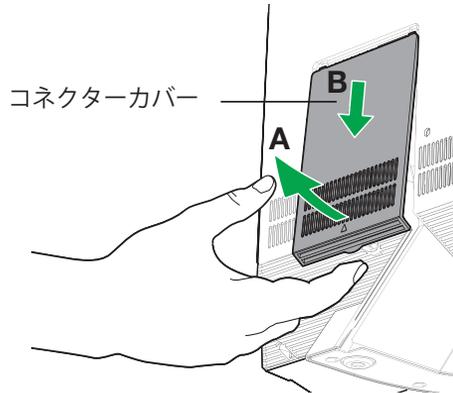
1. スタンド、スタンド用ネジ、モニターの梱包を解きます。
2. モニター下部の穴にスタンドの突起を合わせて、モニターをスタンドの上に置きます。

警告: 46型モニターの質量は54 kgです。55型モニターの質量は61 kgです。けがを防ぐために、製品を持ち上げる際は2名で行ってください。

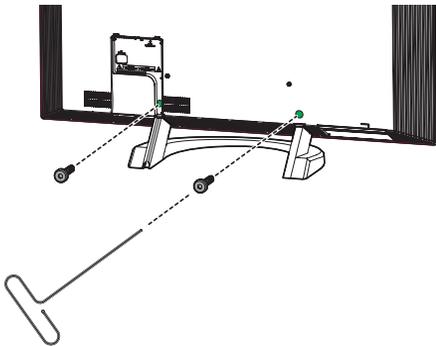


システムの設置と接続

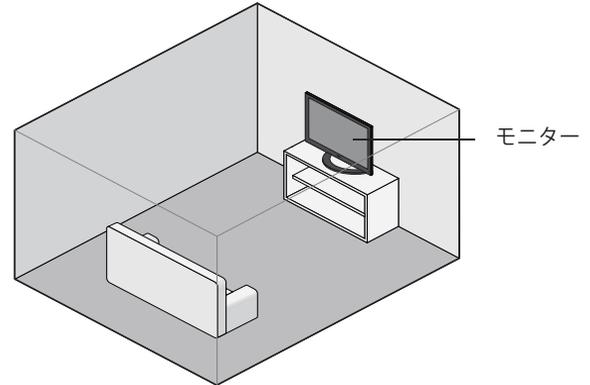
3. コネクターカバーの下側の(A)の部分を引き出し、(B)の部分を引き下げて、モニターのリアパネルから取り外します。



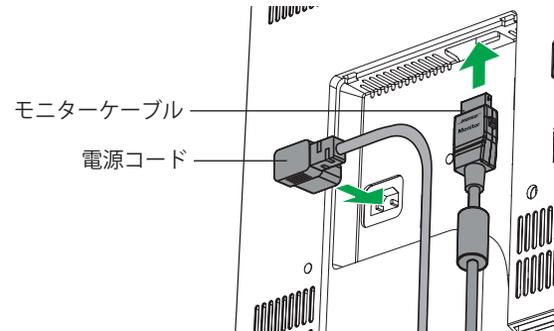
4. モニター背面の穴にネジを差し込み、付属の5/32" (4 mm)の六角レンチを使用してしっかりと締めつけます。



5. モニターは、スタンドを合わせた質量(46型で61 kg、55型で68 kg)を支えることができる安定して平らな面に設置してください。

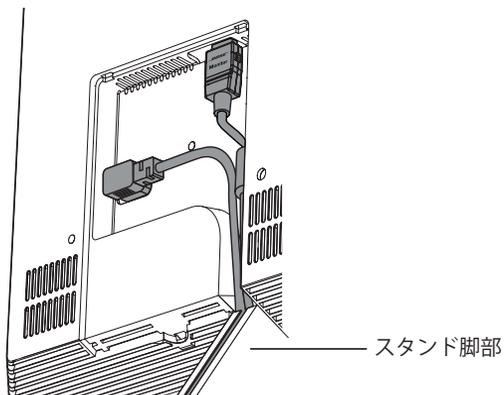


6. 図のように、モニターケーブルと電源コードをモニターに接続します。



システムの設置と接続

- 2本のコードをスタンド脚部の溝の中に沿わせておきます。



- モニターの電源コードをACコンセントに接続します。
- コネクタカバーを元通りに閉じます。

注意: モニターの思わぬ転倒を防ぐため、安全性向上のために付属されている転倒防止用ストラップ2本を、モニターの設置完了後に確実に取り付けることを強くおすすめします。

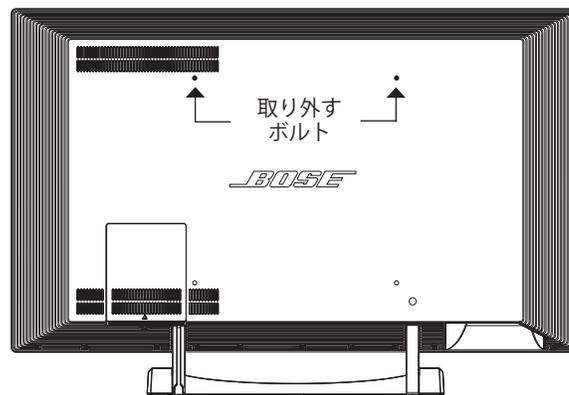
転倒防止用ストラップの取り付け

転倒防止用ストラップは、次の手順に従って必ず2本とも取り付けてください。

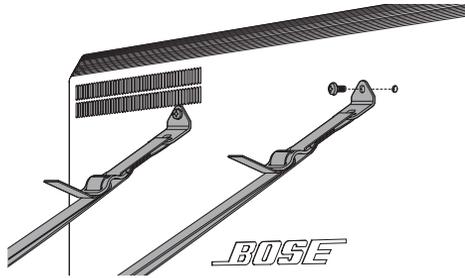
警告: この設置ガイドに指定されている用途以外には、転倒防止用ストラップを使用しないでください。

注意: モニターを設置する場所の建築工法が不明の場合、取り付け手順がよくわからない場合、あるいは不安や疑問がある場合は、専門の設置業者にご相談ください。

- 付属の5/32" (4 mm)の六角レンチを使用して、モニターのリアパネル上部の2本のボルトを取り外します。



2. 同じボルトを使用して、2本のストラップをモニターの背面に取り付けます。

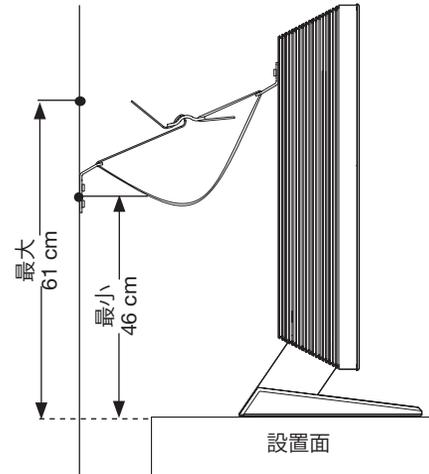


注意: 付属のネジは、厚さが1インチ(およそ2.5 cm)までで木製間柱がある壁に使用するためのものです。壁面の工法がそれ以外の場合は、専門の設置業者にご相談ください。ネジを使用する際は、間柱に沿った電気配線や配管などにご注意ください。

3. ストラップの位置に最も近い間柱2箇所を確認します。各ストラップは最も近い間柱に取り付けてください。

注意: 2本のストラップを同じ間柱に取り付けしないでください。

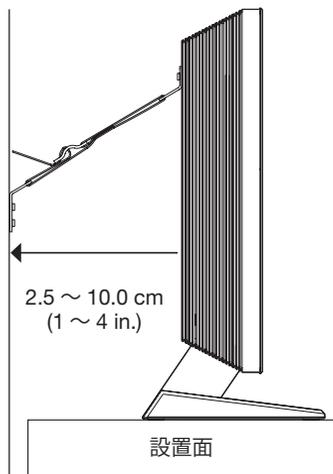
4. 各ストラップのもう一方の端にある金具を、壁面のモニタースタンド設置面より上側の位置に固定します。モニタースタンド設置面からの距離は46 cmから61cmの間にしてください。間柱の中心に穴の位置の目印を付けてください。



5. 必要に応じて、市販の7/64 "(3 mm)のドリル(別途ご用意ください)で4カ所の下穴をあけます。
6. 2本ずつネジを使用して、ストラップを壁に固定します。

システムの設置と接続

7. モニターを、壁から2.5～10 cmの距離まで近づけます。



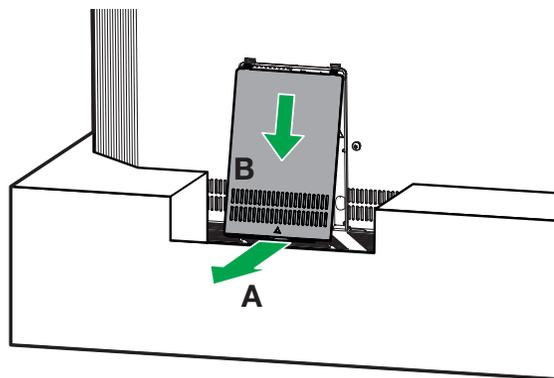
8. モニターと壁の間のストラップに緩みがなくなるまで、ストラップを締め付けます。
9. ストラップの余った部分は、モニターから離れた位置にまとめてください。

壁面へのモニターの設置

VideoWave® III entertainment systemは、400 mm x 400 mmのVESA規格に準拠したブラケットに対応しています。モニターの質量を支えることができるブラケットを使用してください。46型モニターの質量は54 kgです。55型モニターの質量は61 kgです。

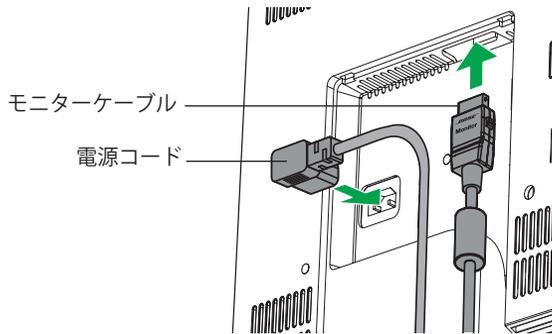
可動型ブラケットの使用は、モニターの位置の変化が音響特性に影響を及ぼすため、おすすめいたしません。VideoWaveシステムを暖炉の上に設置する場合は、熱の影響を受けないよう、暖炉の前面から15.3 cm以上奥まった位置に設置してください。

1. コネクターカバーの下側の(A)の部分を引き出し、(B)の部分を引き下げて、モニターのリアパネルから取り外します。



2. 図のように、モニターケーブルと電源コードをモニターに接続します。

コネクタカバーを取り付け直す必要はありません。カバーを取り外したままの方が、モニターの背面にケーブルを簡単に隠すことができます。



3. 壁掛けブラケット(別売)の説明書に従って、ブラケットを壁とモニターに取り付けます。

4. モニターを梱包の中から取り出します。

警告: 46型モニターの質量は54 kgです。55型モニターの質量は61 kgです。けがを防ぐために、製品を持ち上げる際は2名で行ってください。

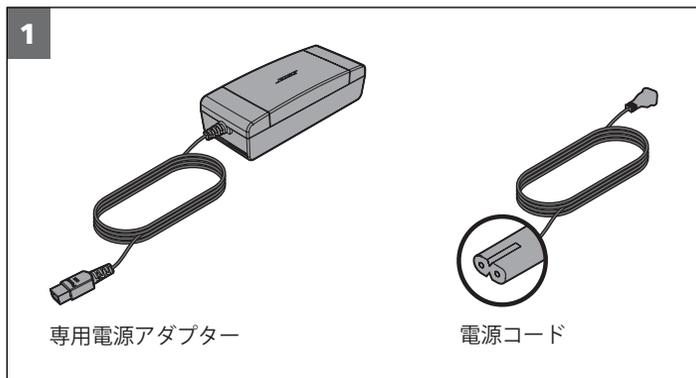
5. 壁掛けブラケットの説明書に従って、モニターを壁に取り付けます。

注意: 使用する電源コンセントがモニターの背後にある場合は、モニターを壁に取り付ける前に電源コードを接続しておきます。

システムの設置と接続

コンソールの設置と接続

箱1の中にある次の付属品を使用します。



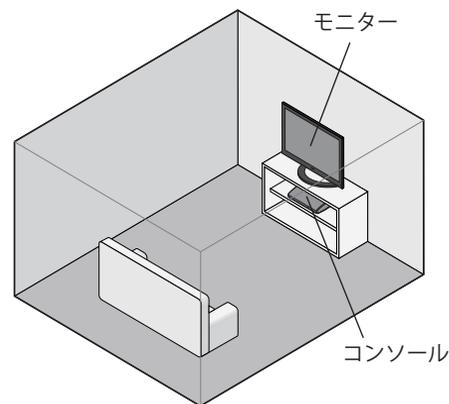
これらの付属品以外に、コンソールを使用します。



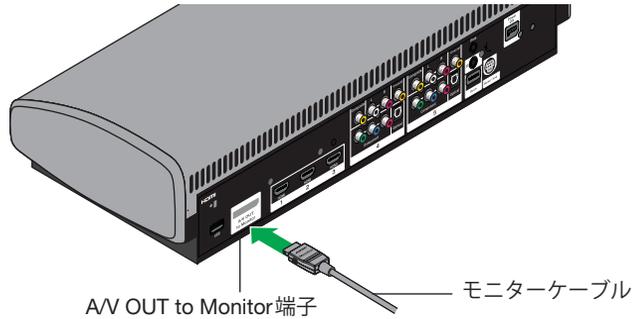
コンソールの設置と接続について:

1. コンソールは、モニターに近い平らで安定した場所に設置します。
 - 付属のモニターケーブル(3m)がコンソールからモニターまで届くことを確認してください。
 - コンソールは、システムのセットアップおよび外部機器の接続が完了するまで、リアパネルの接続部に手が届きやすい場所に仮置きする事をおすすめします。

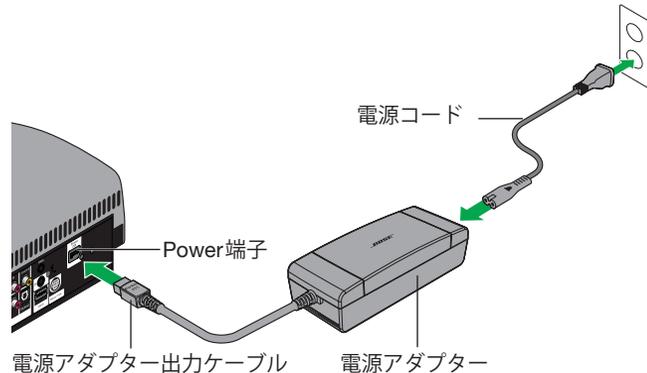
注意: モニターをスタンドで使用する場合は、コンソールをモニターの真下(スタンドの脚の間やその両側)に置かないでください。換気孔や、製品筐体のオーディオシステム開口部が塞がれる場合があります。



2. モニターケーブルをコンソールの背面にある[A/V OUT to Monitor]端子に接続します。



3. 電源アダプター出力ケーブルをコンソールのPower端子に差し込みます。



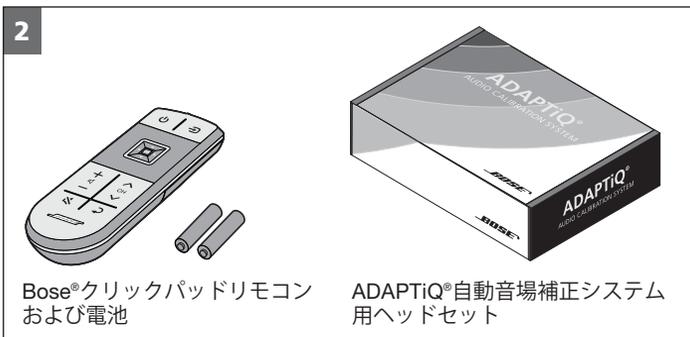
4. 電源コードの片側を電源アダプターに奥までしっかり差し込みます。
5. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。
6. システムの設定を始めるには、「システムの起動」(16ページ)に進み、手順に従います。

システムの設定

システムの起動

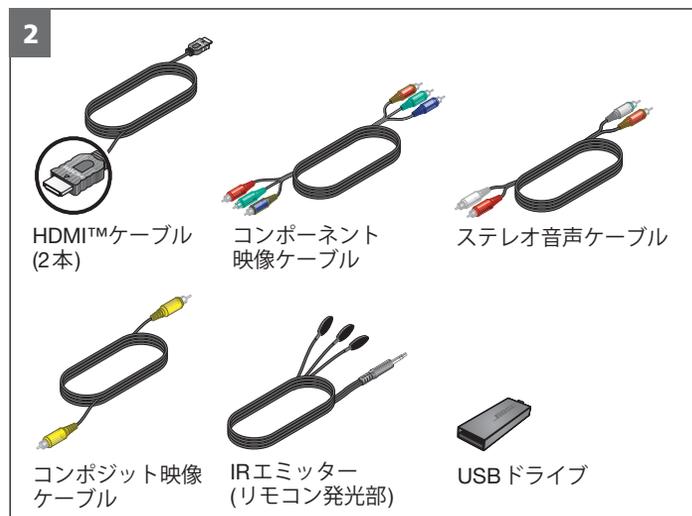
システムの電源を入れて、UNIFY®テクノロジーによるセットアップを開始します。

箱2の中にある次の付属品を使用します。



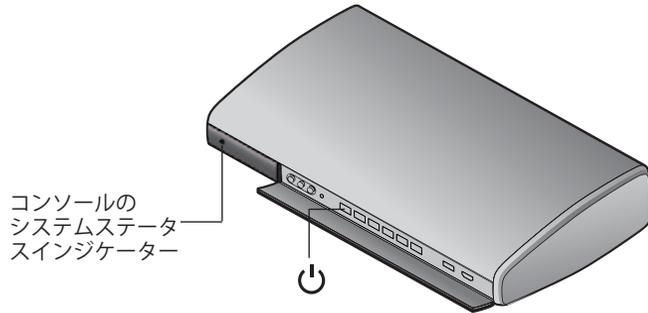
箱2のその他の付属品:

以下の付属品は、お使いのAV機器をシステムに接続する際に使用します。外部機器を接続する際には、モニターに表示されるUNIFY®システムのメッセージで、使用するケーブルについてご説明します。USBドライブはシステムソフトウェアの更新に使用します。(ソフトウェアの更新については、②操作ガイドを参照してください。)

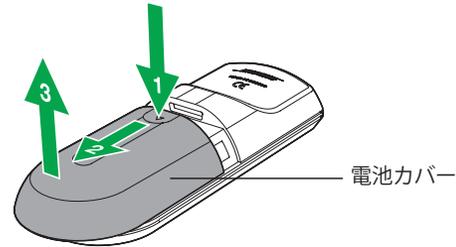


VideoWave III® entertainment systemの電源を入れるには:

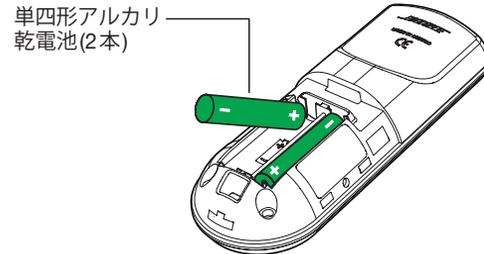
1. コンソールの電源ボタン  を押します。コンソールのシステムステータスインジケータの点灯状態は、スタートアップの状況を示しています。



2. リモコンの裏側にある電池カバーをスライドして外します。



3. 電池ケースに表示されている+と-の向きと乾電池の+と-の向きを正しく合わせて、付属の電池を入れます。



4. 電池カバーを元通りにスライドして閉じます。

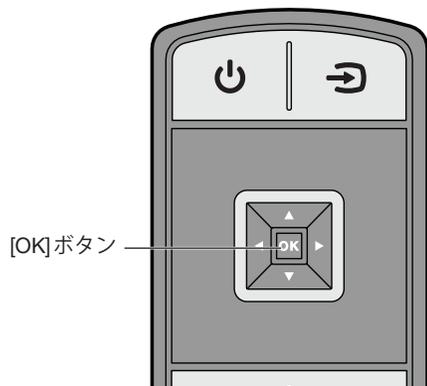
コンソールのシステムステータスインジケータ	状況
消灯	システムが電源に接続されていないか、節電モードで動作しています。
緑の点滅	起動中。
緑	オン。機器を使用できます。
オレンジ	システムを終了中、またはiPodやiPhoneをドックで充電中です(ドックはボーズから購入できます)。

注意: システムの起動中、モニターより起動音が再生され、Boseロゴと進捗バーが表示されます。

システムの設定

5. システムの電源を初めて投入したとき、モニターに次の指示が表示されます。

「この画面が黒くなるまでBoseリモコンのOKボタンを長押しして下さい。」



必ず、モニターに表示された指示どおりの操作を行ってください。これにより、リモコンでコンソールを操作できるようになります。

6. 画面に表示される手順に従い、システムのセットアップを完了します。

UNIFY®テクノロジーが、画面上の指示を通してセットアップの残りの手順をご案内します。

- 言語を選択します。
- ADAPTIQ®自動音場補正システムを実行します。
- AV機器を接続します。

セットアップ時のトラブル

機器がリモコンに反応しない場合や接続に障害がある場合など、セットアップ中にトラブルが発生したときは、いつでもUNIFY®メニューに戻って、システム設定を修正または一部変更することができます。VideoWave® III entertainment system ②操作ガイドの「システム設定の変更」を参照してください。トラブルが発生した場合の解決方法については、②操作ガイドの「故障かな?と思ったら」を参照してください。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 サービスセンター

お客様専用ナビダイヤル  0570-080-023

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。

〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9
唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 ユーザーサポートセンター

お客様専用ナビダイヤル  0570-080-021

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。



370621-0010

BOSE[®]
Better sound through research[®]

©2013 Bose[®] Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM370621 Rev. 00